

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第33回 2021年2月)



今月は日数が少ないので、あまり大声で言えないことを書く。(ま、いつも小声でしか言えないようなことばかりだが)

実は去年の夏に受けた健康診断。心電図で引っかかった。

担当の先生が美人だったのでドキドキして……というわけではない。そもそも先生は大きなマスクをつけていたので、よく顔が見えなかった。目もとは綺麗だったが……いやそんなことはどうでもよしい。とにかく計測を始めたたん、目もとの綺麗な先生が「あっ」と声を上げた。

「どうかしましたか」

「大変です。心拍数が1分200回を越えています」

「エッチなことなんて考えてませんよ」

「それどころじゃないッ。すぐ病院に行って診てもらいなさいッ！」

てなわけで、K 記念病院にすっとなでいった。ここには心臓外科の名医がいる。その名医が言った。

「うーん、これは〇〇症(病名が難しすぎて覚えられず)やね。手術せな治らへんよ。どうする？」

「先生のゴッドハンドをお願いします」

「よっしゃ。成功率は99%。私はこれまで700例以上手がけていっぺんも失敗してへんけど、何事も最初があるからねえ。けけけけ」



手術を終えた翌朝、ベッドに横たわっていると、巡回の看護師さんが隣りにやって来た。そこには食いしん坊と同じ病気で、同じ日に同じ手術を受けた60代のおっちゃんが寝ていた。

「〇〇さ〜ん、悪いお知らせが。実は手術前にした血液検査で、糖尿病が見つかりましたあ〜」

「ええっ? ガーン！」

なんてお気の毒な……食いしん防は心の中で手を合わせた。

夕方になって、看護師さんがまた隣りにやって来た。

「〇〇さ〜ん、ごめんなさい。糖尿病って言ったけど、別の患者さんと取り違えてましたあ〜」

「よかったー! わし地獄に落ちたかと思ったー」

よかったねおっちゃん……食いしん防も喜んでいると、その看護師さんがカーテンを開けて入ってきた。

「食いしん防さ〜ん、悪いお知らせが」



ということで、それ以来食いしん防は、栄養士さんの指導を受けて、地獄に堕ちたかのようなキビシ〜イ食餌療法に励んでいるのであります……



TOPICS

☆食いしん防災部会で HUG を購入！

今年度はコロナ禍で予算が余っているから……というわけでは決していないが、部会で HUG（避難所運営ゲーム）を購入した。

これは防災先進県の静岡が開発したもので、机上で避難所運営を模擬体験できるスグレもの。食いしん坊も以前、講習で受けてみたことがあるのだが、とても良い体験だった。

今後、食いしん防災部会で試してみた後、こと防などの研修に取り入れていく予定である。興味のある方は、ぜひ体験してみてくださいね！



☆コロナ対応を踏まえた HUG を体験！

先月に引き続き、「こと防」が加盟している「災害支援市民ネットワークしが」の研修会に参加した。「コロナ対応を踏まえた HUG 体験」という内容で、購入した HUG の参考にもなる重要な研修だ。食いしん防は張り切って参加した。

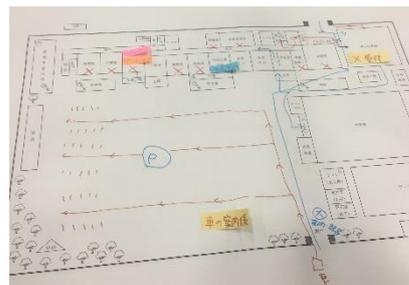


最初にコロナ対応の留意点について講義を受けてから、5人ずつのグループに分かれて HUG 体験に突入。設定は小学校で、3階建ての校舎1棟と、体育館・武道館・プール・倉庫・グラウンドがある。5人は避難所運営チームのスタッフ。大地震が発生し、停電・断水した中で、避難者が次々と押し寄せてくる……

まずは受付をどこに設けるかが問題となる。コロナ対応で密を避けなければならないのと、夜が迫ってくることから、我々のグループは武道館をまるごと受付場所を選択した。さらに発熱など症状のある人を校舎の上の階に、福祉介助を必要とする人を下の階に、一般の人を体育館に分けると決める。動線を考えるのが難しい！あとは次々と押し寄せる難題を、チームワークでしのいでいく。

1時間ほどの体験（本当は2時間くらいかける）だったが、ふだんほとんど使っていない脳細胞を酷使して、終わるころにはお腹がグーグー鳴っていた。それから食べたご飯は、いつにも増して美味しかったように思う。

これにて今年度の「災害支援市民ネットワークしが」の研修会は終了。次年度もできるだけ参加したいと思っている。



今後の活動予定

2月19日 防災・減災の集い（八日市文芸会館）

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：食いしん防のチームは、HUGで何位になったのですか？

A：HUGのGはゲームのことですが、決して勝ち負けや順位を競うものではありません。また途中で出される課題に、完全な正解もありません。あくまでも避難所運営の疑似体験をすることによって、「うわあ、こんなにいろんなことを考えなあかんのや！」と事前準備の必要に気づくのが目的だったりしちゃったりなんかして～（最後は広川太一郎風に）

Q：入院の話が面白すぎます。話を作っていませんか？ それに糖尿病だと、食いしんぼうを返上しないといけないではありませんか？

A：書かれているのは、すべて実際にあったことです。しゃべり口調だけは、ちょっと変えているけど。それと、食いしんぼうは永遠に不滅です！

楽しい質問、お待ちしております！

（文責：こじまっちょ）



“食いしん坊万歳”

